

令和元年度第1回亀岡市子ども・子育て会議 会議録（要旨）

□ 日 時 令和元年9月27日（金） 午後2時00分～3時45分

□ 場 所 亀岡市保健センター 2階講義室

□ 出席者

委 員 安藤 会長、金田 副会長、
橘 委員、大石 委員、鈴木 委員、野々村 委員、石田 委員、小野 委員、
中川 委員、渋田 委員、高橋 委員、片山 委員（12名）

欠席委員 上田 委員、中井 委員（2名）

事務局 こども未来部 子育て支援課（6名）

こども未来部 保育課（3名）

教育部 社会教育課（2名）

□ 傍 聴 0名

□ 次 第

1. 開会

2. あいさつ

3. 委員紹介

4. 議題

（1）第2期亀岡市子ども・子育て支援事業計画（仮称）について

①ニーズ調査結果について（概要）

②計画素案について

③今後の予定について

（2）その他

5. 意見交換

6. 連絡事項他

7. 閉会

□ 要 旨

1. 開会

・会議の運営等について説明（事務局）

2. あいさつ

・会長あいさつ（安藤 会長）

3. 委員紹介

・各委員について紹介（事務局）

4. 議題（議長：安藤 会長）

（1）第2期亀岡市子ども・子育て支援事業計画（仮称）について

①ニーズ調査結果について（概要）

②計画素案について

③今後の予定について

⇒ 資料1～3に基づき説明（事務局）

（2）その他

⇒ 追加資料に基づき説明（事務局）

5. 意見交換

・「4.議題」に関する質疑・意見交換

【委員】計画素案の中の教育・保育の量の見込みと本日の追加資料の数値が違うが、どちらが正しいのか。

【事務局】追加資料の数値は、素案の見込み量ではなく提供量に入っている。

【委員】幼稚園に関して、今、無償化で、新2号というくくりで出ているが、幼稚園の預かり保育を利用される方は、働いている、働いていないは関係がなく、様々な理由で利用されていた。しかし、10月からはそこがはっきりと区別されたことで、毎日利用しますという方が新2号を申請された。それに加えて、働いていない方の利用も含めると、見込量がもっと増えるのではないかと思う。また、ニーズ調査の結果からも幼稚園の2号が増えるということで、今後、低い年齢から早めに利用したいという方が掘り起こされ、3号ももっと増えるのではないかという中で、施設によっては1号の定員を増やして2号を減らしているところがあるが、これはニーズに合っていないのではないか。

【事務局】1号定員の増については、保育要件がなくなった場合の2号から1号への受け皿として設定しており、現実には需要が増加しているところである。2号については、今後の保育ニーズに対応できる見込みである。

【委員】3号は重視しないということか。

【事務局】3号については、待機児童の要となっている部分でもあり、待機児童解消のために他園で3号の定員を増やしていただくということも実現しており、決して3号を軽く見ているということはない。

【委員】素案の中の基本目標1「地域ぐるみで子育てを支援する」というところの基本施策1「地域における子育て支援体制の充実」について、具体的な施策はどの程度決まっているのか。私は、子育て支援員として子育て支援に携わるようになり、3年間は、子育て支援

モデル地区の指定による補助金の支援があったが、その後は支援がなくなってしまった。1年や2年でなく、細く長くお付き合いしていただけるような施策を考えていただきたい。地域ぐるみということなので細く、長く、広く全体をフォローできるような予算を取っていただきたい。

【事務局】具体的な施策については、現行計画をベースとして整理を行う中で、施策の方向性に沿った事業展開を今後記載していく予定である。

活動補助金の件については、予算をかけていくことができるようであれば、そういうところに取り組んでいくということも計画に記載していきたい。そのあたりは地域資源も考えて、今やることと今後やっていきたいことを盛り込んでいくイメージで組み立てているところである。

【委員】まだ素案の段階なので、これからパブリックコメントなどの意見も踏まえて変わっていくとは思いますが、できるだけ細く長い支援をよろしく願いたい。

【議長】今回は子どもの貧困についても取り入れていただいているが、子ども食堂だけではなく親子食堂が立ち上がっているようなので、そういう状況もあり、国も貧困調査の実施を求めている中で、これを取っ掛かりとしていくといいと思う。また、ここには入っていないが、外国人の子どもとその保護者の問題について、まだ具体的に計画に盛り込むところまではいかないかもしれないが、今後の課題として、今後の5年の中にはそういう問題が出てくると思うので、課題として盛り込むことも必要だと思う。これについては、子育ての広い範囲で考えれば高校生まで可能性としてあると思うし、配慮が必要な子どもを障がい児だけではなく拡大していく必要がある。

【事務局】子どもの貧困等に関することは、今回のニーズ調査に盛り込んできた。亀岡市子どもの権利条例では、子どもの利益を最善にという視点で、今後市として基本計画を策定し、その計画の中で具体的にお示しできたらと思う。当該基本計画の策定については、素案の基本目標6基本施策1の部分に位置付けている。もうひとつの外国籍の子どもに関しては、同じく基本目標6の中の基本施策3「配慮が必要な子どもや家庭への支援」がこれに当てはまると考えている。そういうことも可能な限り明記していくということで、この点についてはもう少し検討していきたい。

【委員】外国人の労働問題について、先日クローズアップ現代で岐阜県の子供市というほぼ亀岡市と人口規模が同じところの特集をやっており、20歳を過ぎた外国人の子が、日本人よりも子供市が大好き、自分の故郷だといっていたことが心に残っている。そういう子がいろいろなところで活躍できるようになればいいと個人的には思った。子供市は1億円規模の予算を単費として出しているといっていた。恐らく今後、大都市やその周辺なども同じように外国人の受け入れが増えていくことになると思う。外国人に配慮した施策について、早い段階から、国に対して、補助や援助をしていただきたいという声を上げることが一つの手かと思う。

【議長】市内に外国人を雇う企業が増えてくると、そこに住む外国人が増え、そこに子どもがついてくることになる。こういう問題はすぐにでも起こってくるので、心構えをしておかないといけない。

【委員】この計画の中に図書館の事は載っていないのか、別の計画になるのか。住みよいまちづくりのために、図書館の充実は大事であるとする。

【事務局】この計画に、直接的に図書館の整備について記載することはできないが、関連計画として「かめおかっこ 夢・未来 読書プラン」という計画がある。一方で、ブックスタート事業であるとか、健診の機会を捉えて図書館との連携事業などを行っているので、そういったソフト事業も盛り込むことを検討したい。

【委員】ブックスタート事業の予算もだいぶ削られていると聞いている。他市の図書館では赤ちゃんへの絵本の読み聞かせとかマッサージの仕方を教えたりしているところもある。保育園とか保健所といった相談窓口はちょっと敷居が高いが、そういう場で保育士や保健師、助産師などに相談にのってもらおうというようなこともされており、そういうこともこういう計画に盛り込まれたらいいのではないかな。

【事務局】既存の地域資源の中でも、そういうことに関わっていただいているところもあり、先ほどのブックスタート事業なども含めて、教育的側面からも、文化的にも早い段階から成長を促していけるよう、いろいろな施策の中で有意なものを盛り込んでいきたい。

【委員】韓国の事例があり、韓国は日本と同じ無償化を行っているが、合計特殊出生率が0.9人となっている。このやり方が本当にいいのかと思っている。保育所不足が起こり、保育士の質の低下を招き、韓国では保育室にビデオカメラの設置を義務化したため、保育士が一層子どもたちと関われなくなってきた。本当に無償化が出生率の向上になるのか、亀岡市に人が来てもらうためにどうしたらいいのかということをもものすごく感じている。前回、企業をどう巻き込んでいくのかということ発言したが、無償化の次は働き方改革になると思う。仕事と子育てのバランス、どちらも充実させるためには企業を巻き込まなくてはならない。市長がイクボス宣言や経済団体の方に話をされ、それがこれからいろいろなところで発信されていくとは思いますが、この計画の中にも、働き方改革について、企業の立場も含めて早い段階で取り入れていくことも重要であると思っている。

【事務局】計画策定にあたり、国の動向なども踏まえていく中で、亀岡市ではイクボス宣言というようなこともある。私たちの勤めている環境も、市内最大の事業所として働き方改革に向けた取組を進める中で、子育て支援の視点で申し上げると多様な角度からのアプローチがあると思う。企業はワークライフバランスに配慮した計画を立てるということで、くるみん認定というようなことをやっているところもあり、子育て支援サイドからのアプローチとしてはそういったことがまず入口になってくるのではないかなと思う。就業体

系の話など企業に工夫いただくという部分も含めて、働き方改革により、その時間を子育てに充てていただけるような取り組みの働きかけが、国や府とも連携を図る中で進めていけるといいと思う。

【委員】何か子育て支援のために企業とコラボするといった視点で、モデルとなるよう形で京都府とも連携を図っていきながら、予算を取ってこられるといいと思う。

【議長】亀岡市の出生率は、全国平均より下で京都府より下という状況を考えないといけない。少子化対策として、ひとつは子育て支援、もうひとつは無償化といったことがあるが、出生率は増えていない。その辺りを頭に置いてこのような計画を作っていく必要がある。そういう意味で、先細りにならないよう人口の社会増を進めていくことが必要であると考えます。

その他特になければ、これをもって皆さんに本議題のご理解をいただいたものとして、本日の議事を終了する。皆さんからの意見を参考に、さらに計画の中に盛り込んでいただければと思う。

【事務局】本日いただいた意見を踏まえ、次回、パブリックコメント前、最終案としてご提示させていただきます。

6. 連絡事項他

- ・現委員の任期、次回の会議開催時期等について事務連絡（事務局）

7. 閉会

- ・副会長あいさつ（金田 副会長）

以 上